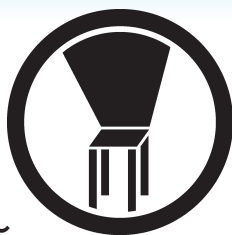


碧南市 競技職種② 『家具』



～生活にぬくもりと癒しを与える～

テーブルやイス、タンスなど生活に必要不可欠な家具。そのなかでもぬくもりを与えてくれる木製の家具。美しく使いやすく、ときには優しく。そんな家のなかになくてはならないものを作り出すことが、家具の技能です。



家具競技とは

家具競技は、さまざまな工具を使います。工具を手順よく効率的に使用して、さまざまな要素の詰まった課題である家具を作り出します。

【流れ・技の見どころ】

家具作りで高い技能が求められるのが、引き出し作りです。

①工具を使って線をひき、その線に従ってノコギリやノミを使って加工

この加工をうまく仕上げるのが、作品の出来を大きく左右します。



②はめ込むための溝きり、組み合わせ



③底板をはめて完成

カンナを使って、底板がしっかりはまるように調整します。



家具の『技』

木材の使い方を誤ると壊れやすく、ねじれやすい欠点があります。このような木の性質を理解し、木の魅力を引き出しながら精度良く加工するテクニックが必要不可欠です。

文化祭総合美術展作品募集

問合せ 文化会館内生涯学習課 ☎(42)3511

部門 日本画、洋画（油絵・水彩・ガラス絵・版画・デザインなど）、彫塑・工芸（はり絵・染織・七宝・陶芸・彫刻・和紙工芸・アップリケなど）、書（漢字・かな・近代詩文・少字数・てん刻など）、写真（カラー・白黒など）

資格 高校生以上

規格

日本画 6号以上100号以下で額装または軸装、そのほかこれに準ずるもの

洋画 100号以下で額装または壁展示可能な装具を施したもの

彫塑・工芸 重量50kg以下、平面100号以下、高さ230cm以内、横150cm以内、奥行100cm以内

書 漢字作品は小画仙紙半折2分の1以上全紙以下、横60cm×縦240cmは可、幅180cm以下（額装または枠装）、かな作品は半懐紙以上（仮表装以上、折帖および巻子は不可）、てん刻は縦39cm×横30cm×厚さ3cm以下で額装または枠装のもの
※必ず釈文を添付してください。

写真 全紙の単写真でパネル張りまたは額入り（ガラス額は不可）

出品 1人1部門につき1点で自作・公募展未発表のもの

審査員 木本文平（藤井達吉現代美術館館長）、高橋秀治（県美術館副館長）、鷹巣純（愛知教育大学教授）、安藤豊邨（日本刻字協会理事長）、塚本伸爾（日本写真家協会会員）

賞 全作品のなかから総合美術展大賞（県知事賞）、各部門ごとに市長賞、県議長賞、市議長賞、県教育委員会賞、県文化協会賞（特選）、各新聞社賞、文化協会賞（準特選）、市教育委員会賞（奨励賞）

搬入日 10月19日(日) 9時～17時

搬入場所 文化会館（受付後指示する場所へ搬入）

搬出日 11月3日(月) 16時15分～19時（書は16時30分～）

●表彰式

とき 11月3日(月) 9時30分～

ところ 文化会館

【ご注意ください】

- ・天災や不慮の事故については、一切責任を負いません。
- ・搬出日に搬出しない場合は、作品の保管に責任を負いません。また搬出日以後10日経過した作品は主催者で処分します。
- ・審査員会により、出品規定に適合しないと判定した場合は展示しません。